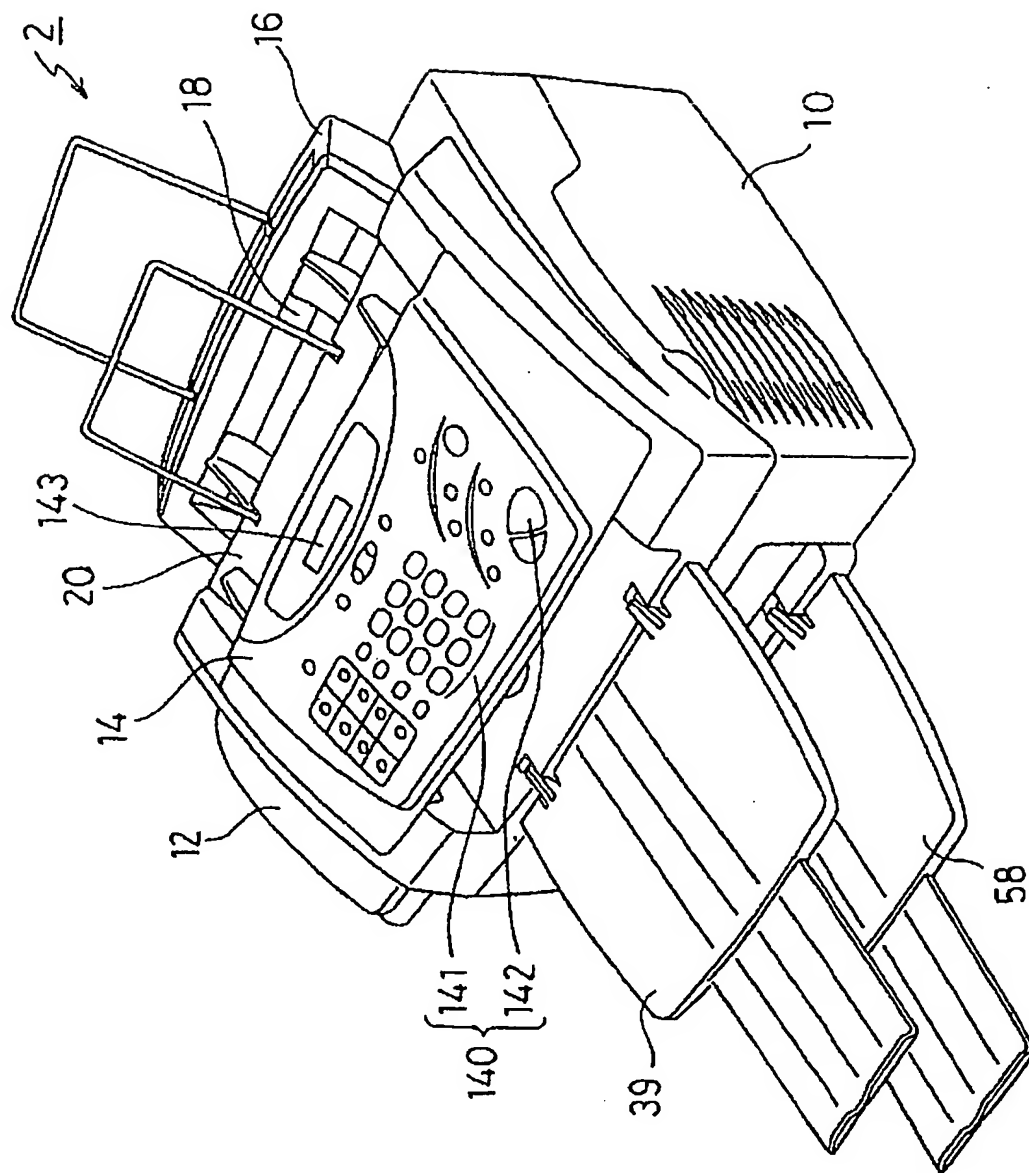


FIG. 1



~~【圖2】~~

F-1G. 2

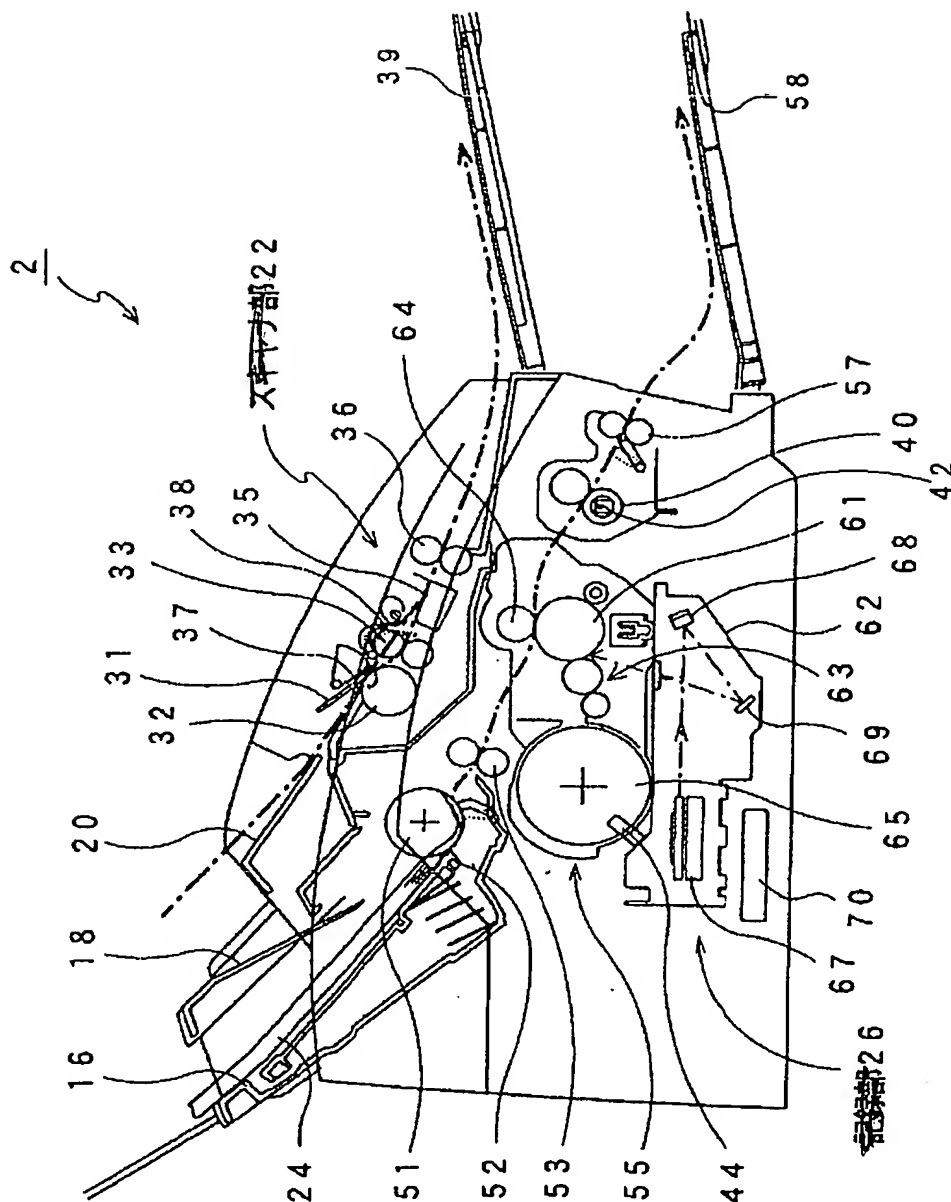
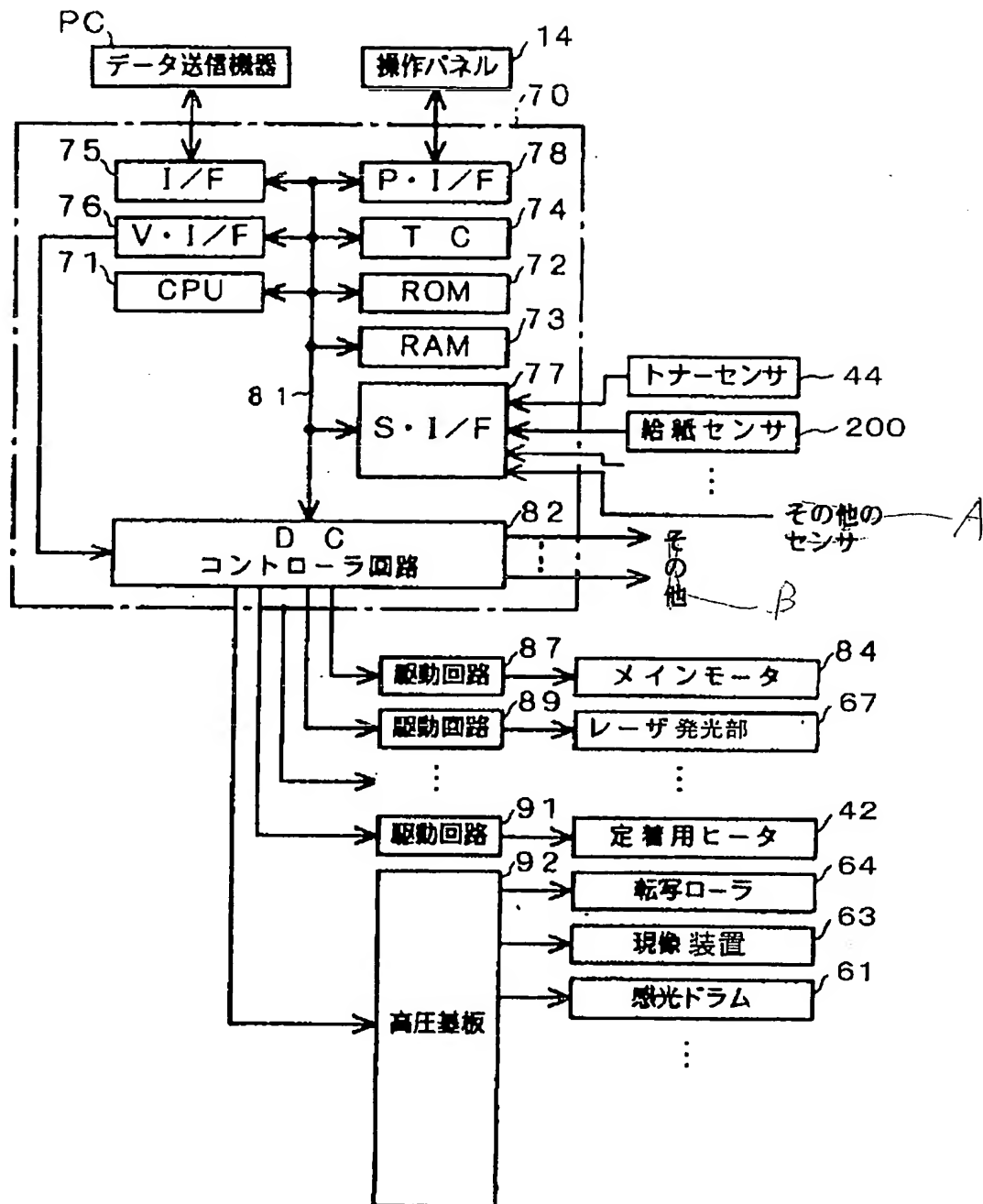
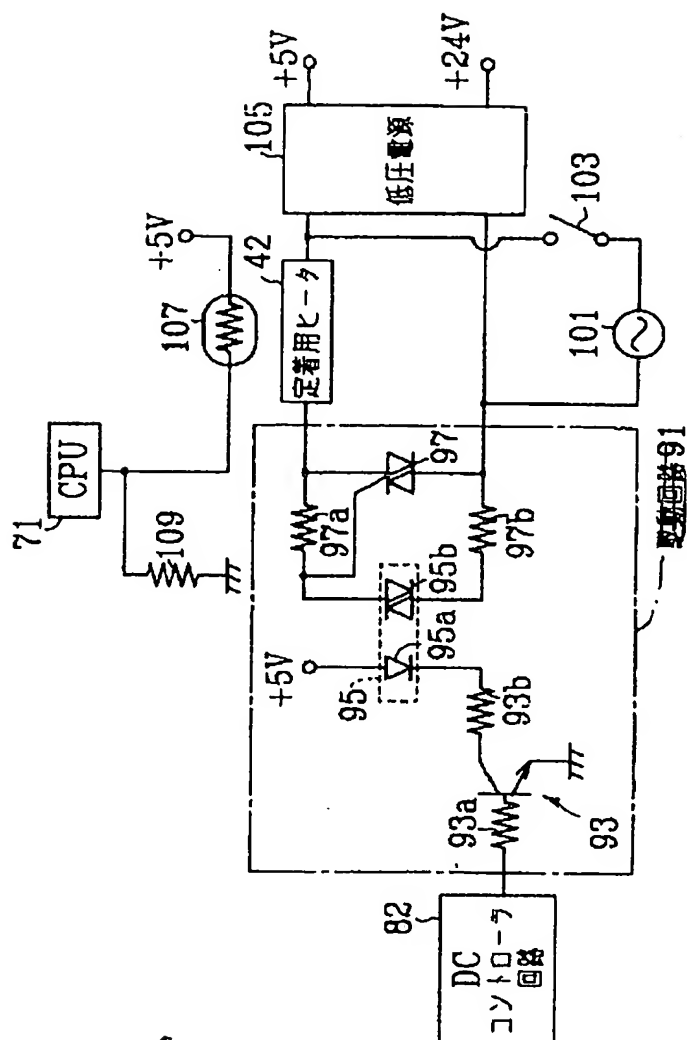


FIG. 3



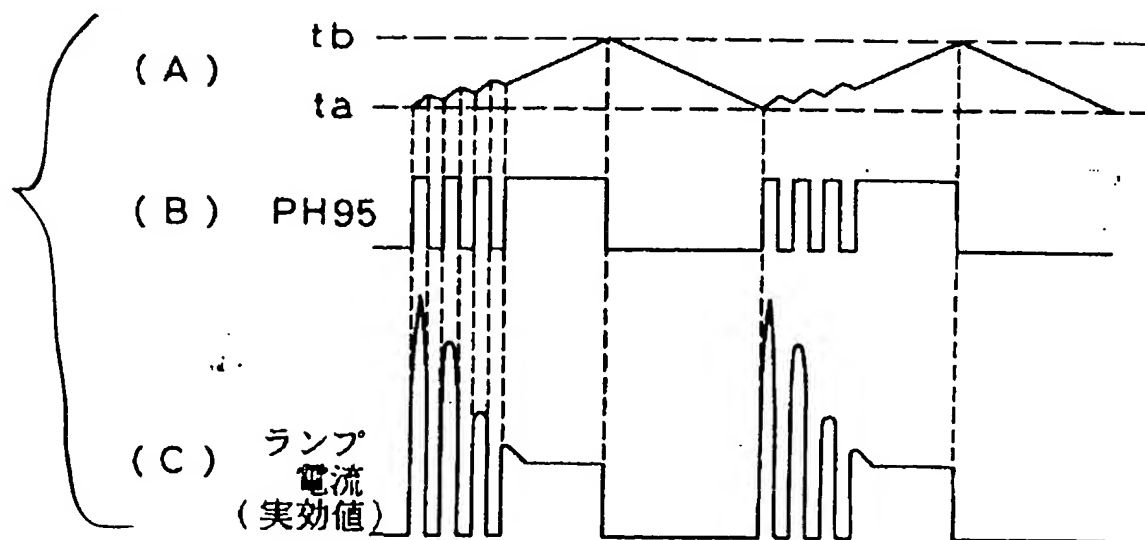
【図4】

4151



【圖5】

F/G-5



【図6】



【図8】

FIG. 7

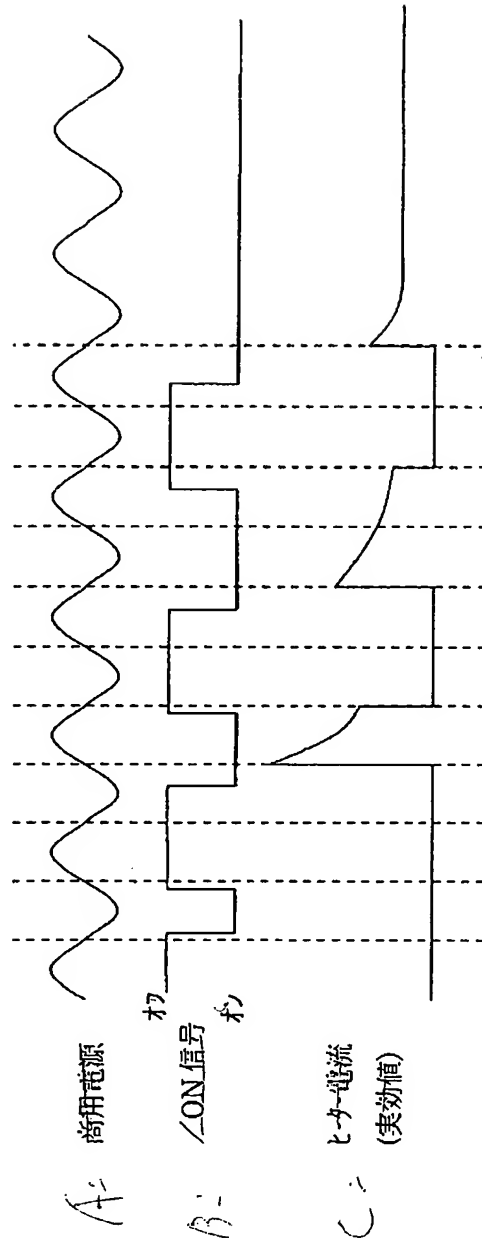
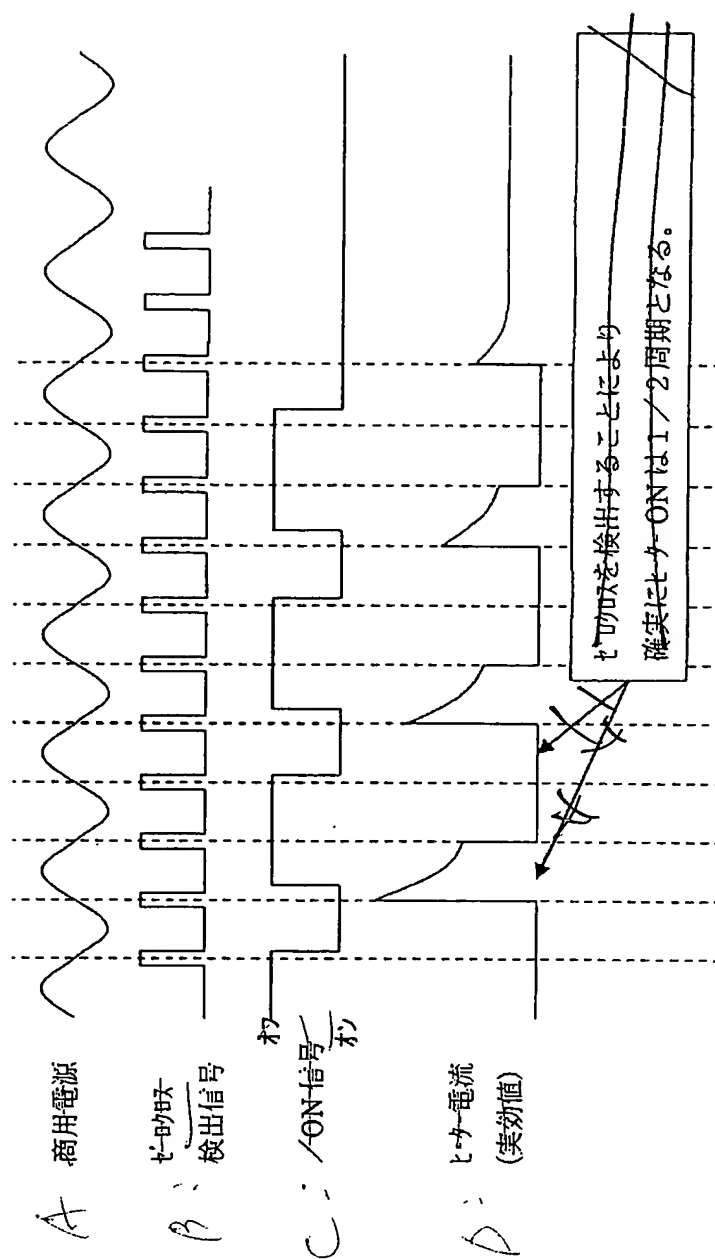




FIG. 9

【図10】





f-1C7.10

【図11】

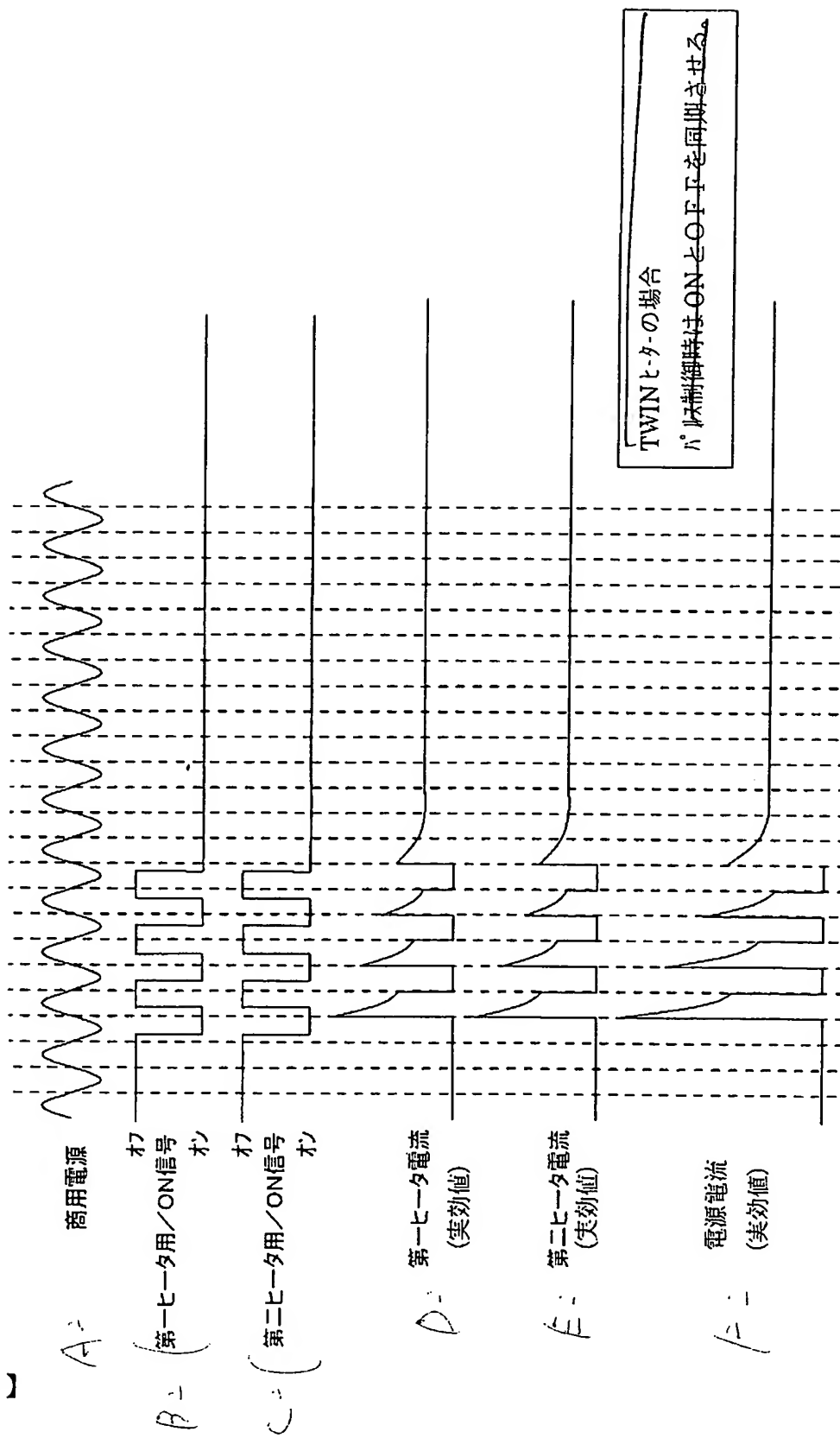
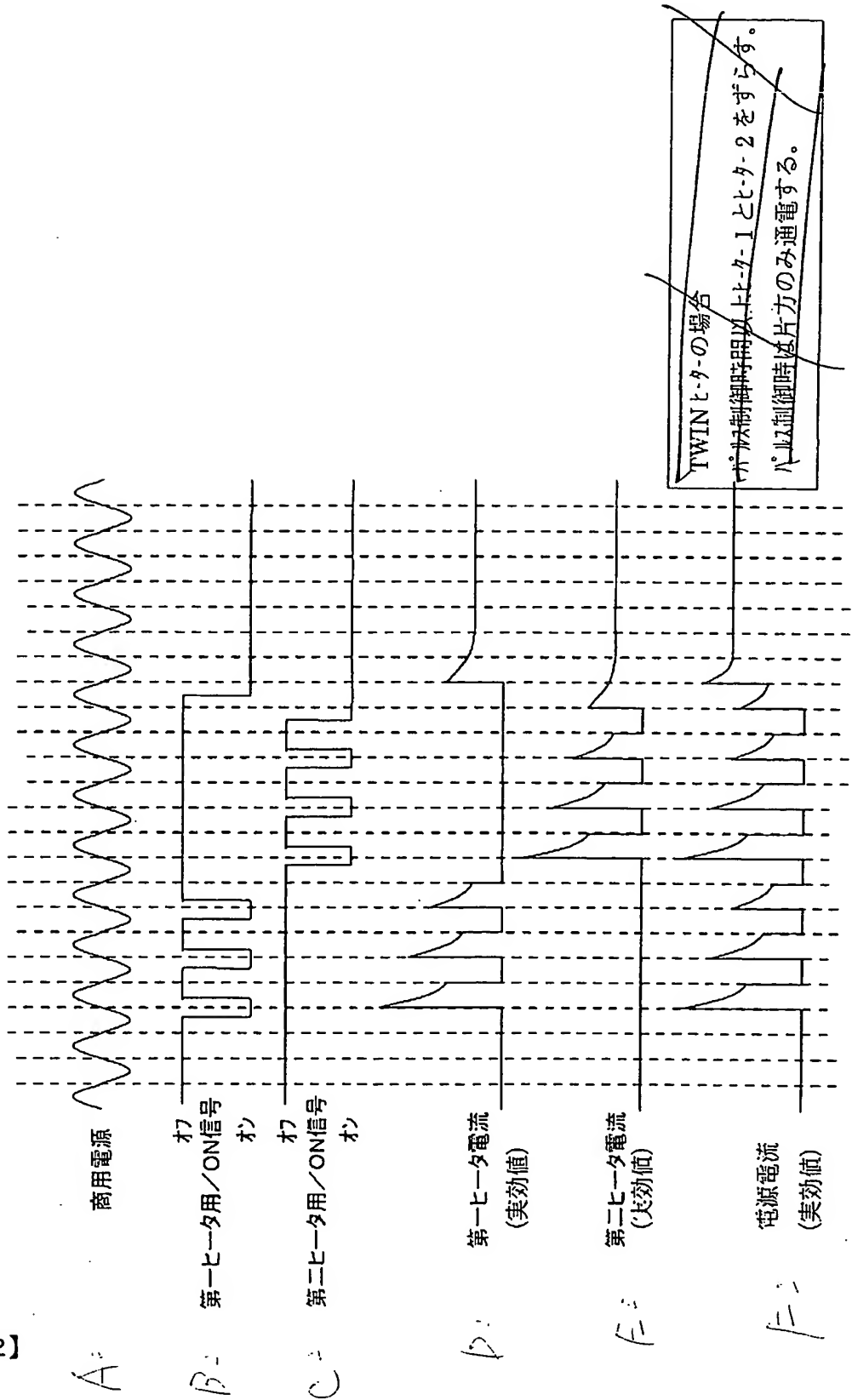


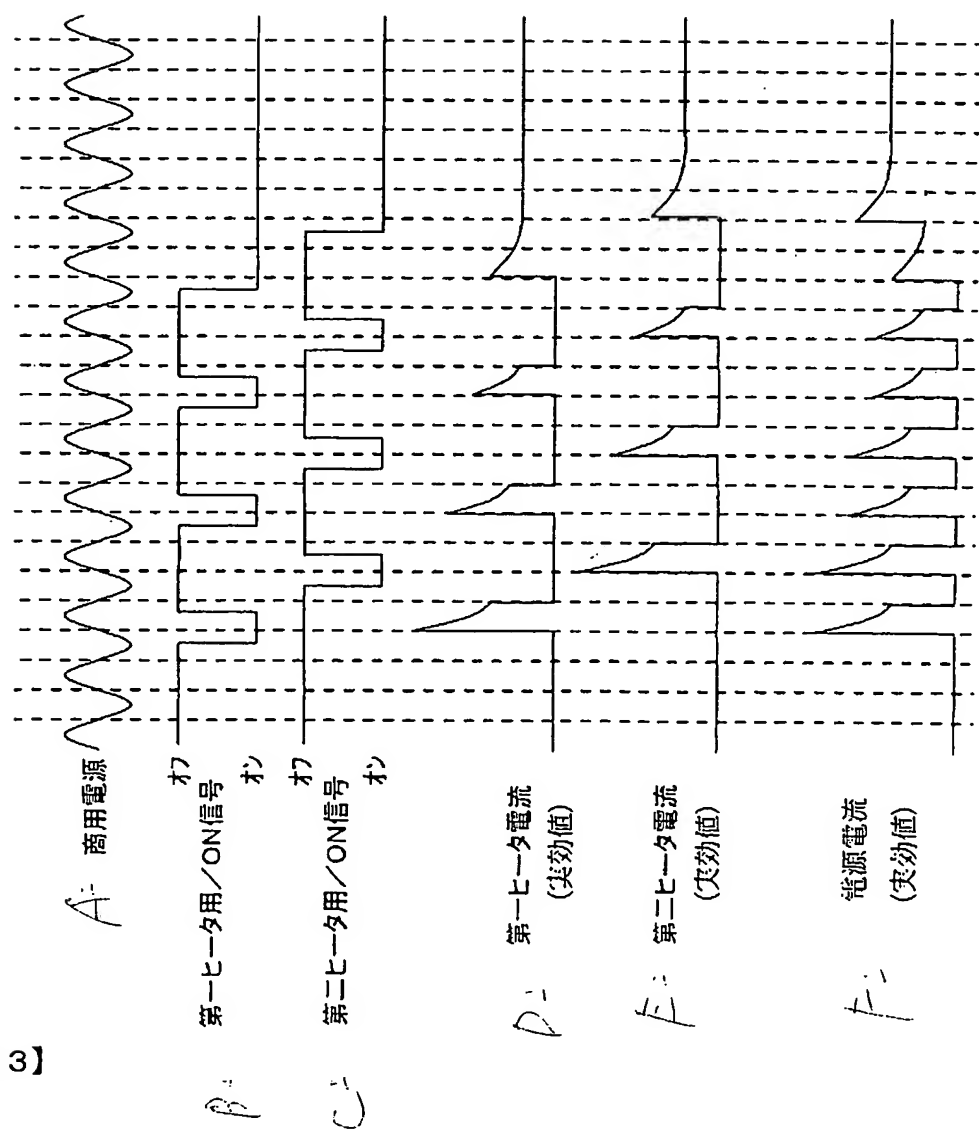
FIG. 11

【図12】



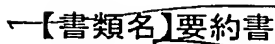
$f = 100 \text{ Hz}$

【図13】



TWINヒータ-の場合  
パルス制御時はONとOFFを交互にする。

10 m sec.



【課題】従来よりも確実にフリッカを軽減できる加熱装置等を提供する。

【解決手段】DCコントローラ回路が、ゼロクロス検出回路からのオン信号からオフ信号への変化時にCPUに対してゼロクロス検出割り込みをかけ、CPU71はゼロクロス検出割り込み時に割り込み回数をカウントする。このカウントを行うカウンタの値が1の時に／ON信号をオンとし、2の時に／ON信号をオフとし、3の時には／ON信号をオフのままとした上、カウンタをリセットする。さらにオンにした回数をカウントし、オンにした回数が4回目からは、ゼロクロス割り込みが発生しても連続的に／ON信号をオンとする。その結果、図に示すタイミングで、／ON信号はオンオフを3回繰り返し、定着用ヒータ42の電流の実効値は、図に示す値となる。このように従来より確実に商用電源の電圧値のゼロクロスの際の／ON信号をオン状態またはオフ状態に確定させることができる。

【選択図】図9